

第3期湯沢市地域福祉計画（概要版）

令和元年度から令和5年度まで 5ヶ年計画

（※掲載したものは一部です。また、計画には各項目の担当が記載されていますので、市HPでご確認ください。）

基本理念

支え合い、誰もがつながる共生社会の地域づくり

基本施策1 みんなが役割をもち、参加してつくる共生社会の地域づくり

参加協働

- ①市民参加と協働のまちづくり
（重点施策1）
- ②多世代交流やサロン活動の推進
- ③ボランティアなど市民活動が積極的に行われる地域づくり
- ④社会福祉法人や企業などの地域貢献の推進

基本施策2 気づき、つながり包括的に支援する地域づくり

気づき つながる

- （重点施策2）
- ①身近なところで気づき、つながり丸ごと相談ができる体制づくり
- ②多機関が連携した包括的な支援体制づくり

基本施策3 住み慣れた地域で安全に安心して暮せる地域づくり

安全・安心

- ①災害や緊急時に互いに支え合い助け合える地域づくり
- ②教育、就労、住宅、交通、環境、まちづくりなど生活関連分野が連携し、安心して暮せる環境づくり

◆主な事業◆

地域自治組織支援事業、新しい地域包括支援体制構築モデル事業、生活支援体制整備事業、地域福祉トータルケア推進事業など

◆主な事業目標◆

拠点及び生活支援活動の創出2箇所、まちづくりコーディネーター育成15人、ふれあいサロン実施率（町内会単位）70%など

◆市民ができること◆

地域でのあいさつ、声かけを心がける。サロン活動や交流活動を積極的に企画・運営する。積極的にボランティア活動に参加する。など

◆主な事業◆

新しい地域包括支援体制構築モデル事業、生活支援体制整備事業、地域福祉トータルケア推進事業、傾聴ボランティア・ゲートキーパー・認知症サポーター養成講座など

◆主な事業目標◆

身近な地域で丸ごと相談を受けとめる場の設置2箇所、民生委員・児童委員、主任児童委員と福祉員の研修の場全11地区 湯沢市出前講座の件数100件など

◆市民ができること◆

悩みをひとりで抱え込まず、誰かに相談する。ちょっとしたおせっかいを心がける。相談を傾聴する。他人事を我が事とした意識を高める。など

◆主な事業◆

自主防災組織設立の推進、災害時要支援者避難支援ネットワーク構築事業、生活バス路線運行対策事業、空家等対策事業、ICTを活用した地域の課題共有・解決事業など

◆主な事業目標◆

自主防災組織率（世帯数ベース）35%以上、災害時要支援者台帳の作成（行政区ベース）100% 将来の移動に不安を感じている人の割合53.5%⇒30.0%など

◆市民ができること◆

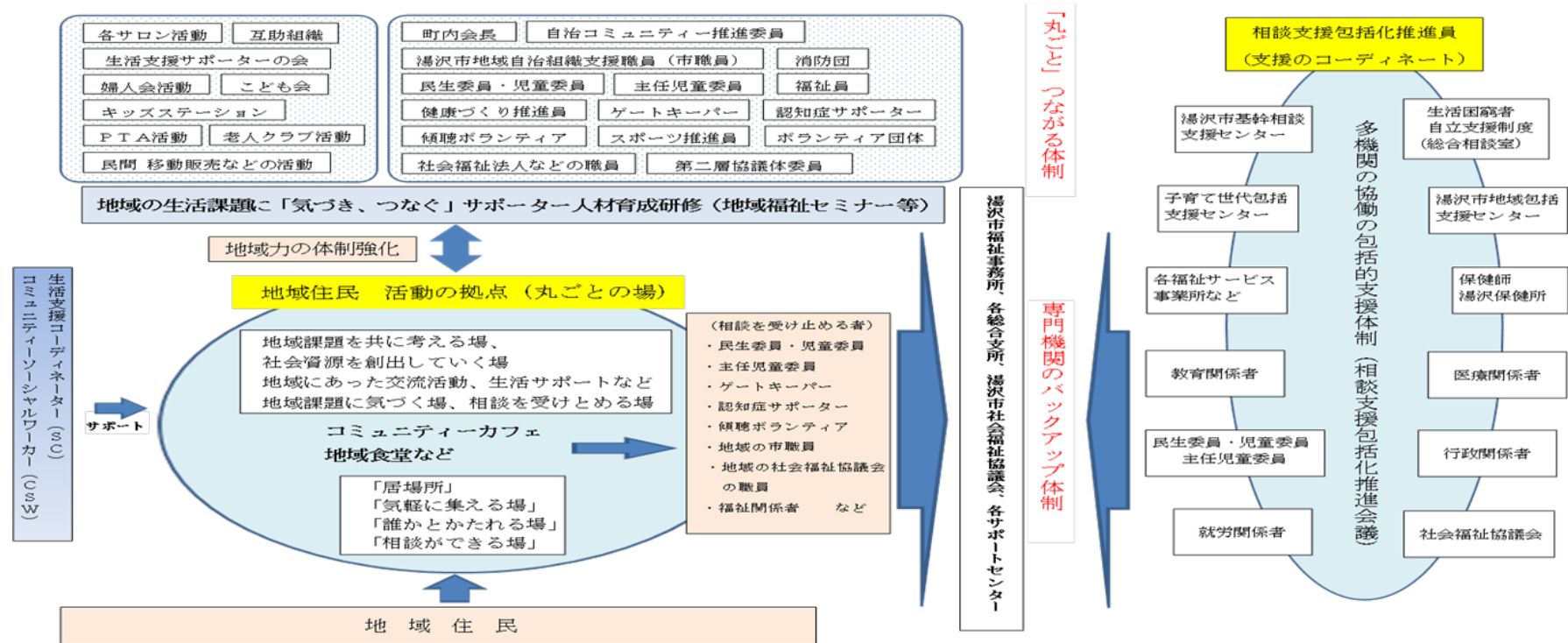
災害に備えて、普段から必要な避難用品を準備する。地域での防災訓練に積極的に参加する。自分たちが暮らす地域の課題をみんなで考える。近所同士のちょっとしたお手伝い（ごみ出しや雪寄せなど）を心がける。など

(重点施策1) 多世代交流やサロン活動の推進 (重点施策2) 身近なところで気づき、つながり丸ごと相談できる体制づくり

地域住民や地域の多様な主体が参画し、「人と人」、「人とモノ」そして「思い」が世代や分野を超えて支えあいつながっていくことで、住民一人ひとりの「暮らしと生きがい」や「地域」を共につくり、誰もが地域で生き生きと暮らせる共生社会を目指します。また、地域住民が「他人事」を「我が事」としてとらえる意識の醸成を図り、丸ごと（包括的に）支援する体制づくりを目指します。

子どもから高齢者、障がいがある方など多様な人が集うことで、お互いできない部分を助け合うためにいろいろな仕事や役割が生まれます。この活動が、地域で支えあう体制づくりを推進するうえで大きな役割を担います。地域住民などの交流が図られる拠点を設定することによって地域の持つ力を強化し、また公的な支援体制と連携することで安心して暮らせる地域の実現を目指します。

湯沢市における「我が事・丸ごと地域づくり」イメージ図1



第3期地域福祉計画が必要な方は、湯沢市福祉保健部福祉課地域福祉班（TEL73-2122）へご連絡ください。また湯沢市HPからもダウンロード出来ます。